

退任育友会長 挨拶

この4年間の出会いが 私の財産

平成 27 年度育友会長 **本多 英夫**



4年前に息子が専修大学商学部に入學した時、私と同じ大学を選んでくれたことに喜びを感じておりました。私は専修大学の卒業生でもありましたので、息子のために何か大学と関わりたいと思っておりました。そんな時に育友会事務局から連絡を頂いて父母幹事になりませんかと誘われました。父母幹事ならと思い、引受けることにしました。これが、私の育友会活動の始まりです。

それ以来、2年目からは副会長を、最終学年では会長をさせていただきました。長いようで短い4年間だったと思います。支部懇談会、鳳祭開催時のお休み処「育友」、様々なスポーツの応援等の行事に参加しながら、本部役員や支部役員との交流を深めてきました。特に、神宮球場での野球の応援は久しぶりの校歌に酔いしれ、箱根駅伝の応援には気合いが入りました。そして昨年春、会長就任前の春季リーグ戦で硬式野球部が26年ぶり32回目のリーグ優勝を果たしました。その後も卓球部女子のリーグ優勝と日本一、さらに秋には卓球部男子も優勝するという快挙を遂げました。そればかりでなく、続々と他の体育会も素晴らしい成績を収め、まさに伝統校「専大」の活躍を見ることができました。

会長に就任した昨年は、新規の事業は行いませんでしたが、時代の変化に対応するために、これまでの活動内容を充実させてきました。特に、学生の就職活動に関しては、毎年スケジュールが変わったこともあり、会員の皆様も戸惑われたのではないのでしょうか。就職懇談会では、就職ジャーナリストをお招きし講演していただきました。現在の就職活動と私たちの時代との違いを認識し、保護者としてどう対処すべきかということを考える機会になったと思います。就職懇談会は成功裡に終了しました。講師の田宮様は、

専門家であるだけでなく、私たちと同年代でもあったので、身近な話題も含めて貴重なお話をさせていただきました。

この1年間は、会長という立場もあり、多くの方々と出会う機会を得ることができました。校友会の小宮会長をはじめとする本部役員やお伺いした各支部の支部役員の皆様。様子の分からない私に、皆様から声を掛けていただき、楽しく過ごさせていただきました。大変お世話になりました。また、大学の行事に出席させていただいた時には、日高理事長、故矢野学長をはじめ多くの教職員の皆様から励ましをいただきました。心より感謝申し上げます。

しかし、今年4月25日に育友会の名誉顧問を務めておられた矢野学長が急逝されたことは、驚きとともに残念な気持ちで一杯になりました。まだまだ先生のご活躍される姿を見たいと、誰もが思っておられたのではないのでしょうか。心からご冥福をお祈り申し上げます。

さらには、4月に起きた熊本地震は矢野先生の訃報とともに衝撃的なニュースとなってしまいました。自然災害の恐ろしさを痛感させられました。地震で亡くなられた皆様のご冥福をお祈りいたすとともに、被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。一日も早く復興されることをお祈りいたします。

さて最後になりますが、育友会を通じて知り合えた皆様に、心から感謝申し上げます。「人生は出会いで決まる」は私の好きな言葉です。そしてこの言葉のとおり、この4年間に出会った方々が私の財産になっています。出会えた皆様にはこれからも、お付き合いいただけたら、大変嬉しいです。心からの感謝を申し上げます。退任の挨拶とさせていただきます。